

## エネルギーセンターの機能 まとめ

### #1 (ムーラダーラ・チャクラ、ルート・チャクラ)

#### 肉体感覚と物質世界に生きる意志

位置	股間にあり、その先端部は仙骨部の尾骨関節に位置する。
機能	生命力の最初の顕現。生きるための力強い意志。物質つまり大地と、大地から与えられるもの全てに関係する。生存（自分自身のために立ち上がる力）。肉体的欲求 物理的エネルギーの量。生きる意志。これは筋感覚（身体の位置感覚）、運動感覚（身体の移動感覚）、触覚に関連している。また生きる意志に関係しており、肉体的活力を与える。
エネルギー	脊椎、副腎、腎臓、骨、骨格。特に脊椎、副腎、腎臓。
神経叢	仙骨神経叢
内分泌腺	副腎皮質 水分の吸収促進（発汗調節）。無機塩類（Na, K）の調節 アディソン病、低アルドステロン症、クッシング病、高アルドステロン症、性ホルモン分泌過多 糖・脂質・タンパク質の代謝促進。血糖量の増加
	副腎髄質 心臓の拍動促進（→血圧上昇）。血糖量の増加。体のストレス反応などの調節を行なう。「闘争か逃走」反応（fight- or-flight response）
機能活性	地にどっしりと足をつけ、しっかりとした基盤を持つ。母親や育ててくれた人との間に深い絆がある。そして自分自身の肉体についてきちんと把握している。生きるための力強い意志を持つ。自分は今ここにいと表明し、物質的現実の中でしっかりとした基盤を持つ。
精神の機能障害	生命力の物理的ヴァイタリティのほとんどがブロック。現実の世界において活躍できない。エネルギーが低い。“ここ”にいない。肉体的活動を避ける。病弱。肉体的パワーがない。
身体の機能障害	直腸腫瘍、うつ病、骨関節症、慢性の腰痛、座骨神経痛

## #2 (スワーディシュターナ・チャクラ、セイクラル・チャクラ)

### 自己感情と官能、創造力

位置	恥骨のちょうどすこし上に位置し、体の前と後ろにある。先端は仙骨の真ん中にある。
機能	人間が持っている異性への愛の質と関係。官能と性。情緒のバランス リンパ系に關係。受け取ったり与えたりすること。このチャクラを通して人間は感情を感じる。このチャクラは官能と性に關連している。
2Aの機能	人間が持っている異性への愛の質。物理的、精神的、靈的快感を与えたり受け取ったりすること。開いていると、性的肉体的快感を与えたり、受けたりするのを促進する。性交を楽しみ、オルガスムを感じる（完全なオルガスムにはすべてのチャクラが開いていることが必要）。
2Bの機能	性的エネルギーの量 開くと性的なパワーを感じる。ブロックすると性的な力や潜在力はすべて弱まり、空白になる。性衝動を持たなくなり、セックスを避け、その重要性和快感を放棄するようになり、結局はその領域で栄養不良になる。オルガスムは肉体を生命エネルギーに浸すので、肉体はこの方法からは養分を得られず、他との親交や肉体的接触による心理的栄養を受け取れなくなる。
エネルギー	生殖器官や免疫系（リンパ系）、性器、膀胱、大腸、前立腺、子宮、生殖器官や免疫系。
神経叢	腰神経叢
内分泌腺	性腺 生殖器官の未発達、乳房の発達、体格の変化、体毛の発育といった思春期における第二次性徴の発現に影響し、また月経や生殖機能に問題を起こす
機能活性	性的肉体的快感を与えたり受けたりするのを促進。 触れたり触れられたり、受け取ること与えることを楽しむ。
身体の機能障害	男性の不能。女性の不感症。膀胱・前立腺のトラブル。慢性の腰痛。坐骨神経痛。産婦人科系の問題。泌尿器系の問題。骨盤の痛み。性能力。免疫系疾患。自己免疫疾患。多発性硬化症。筋肉が凝ったり、特に背下部、腰、脚の動きがぎこちなくなる。

### #3 (マニプーラ・チャクラ、ソーラー・プレクサス・チャクラ)

#### 知性と直感

位置	太陽神経叢（胃の辺り）に位置し、やはり体の前と後ろにある。先端は横隔膜のつなぎ目、胸椎 12 番と腰椎 1 番の間に位置する。
機能	その人の個性と宇宙の内側に結びついた深い認識からくる大きな喜び。 直感にも関係。 宇宙の中の自分の姿や、自分がどのように他人とつながっているか、そしてどのように自己をケアしているかに関わる。 また直感にも関係し、宇宙の中の自分の姿や、自分がどのように他人とつながっているか、そしてどのように自己にケアを施しているかにも関わっている。 個人の力、意志、信頼
3Aの機能	宇宙で自分が何者かという自覚。大きな喜びと開放感。霊的な知恵。人間関係。感情面の調整。
3Bの機能	治癒・健康に対する意志。
エネルギー	胃、肝臓、胆嚢、神経系、消化器系、肝臓、胆嚢、脾臓、筋肉。
神経叢	太陽神経叢
内分泌腺	膵臓 糖尿病 グルカゴンとインスリン
機能活性	深く満たされた感情生活。 宇宙における自己の独自性や、自分のより崇高な目的を結び付けられない完璧に調和することを受け入れ、宇宙の中の自分の場所と結びつくならば、その人は自己容認によって肉体的な健康が物理レベルで現れる。
精神の機能障害	不信感。恐れ。脅迫。自信のなさ。自分や回りからの評価を非常に気にする。無感動。
身体の機能障害	関節炎。胃潰瘍。消化不良。慢性疲労。アレルギー。糖尿病。肝臓障害。副腎系の病気

## #4 (アナーハタ・チャクラ、ハート・チャクラ)

### 対人感情と人間愛

位置	胸の辺りにあり、愛と意思に関連している。先端部は胸椎5番に位置する。
機能	愛。自他の意志の調和 愛、人間関係、悲しみ、怒り、希望 このチャクラを通して人間は愛を感じる。体の前のチャクラは愛に、背中のチャクラは意志に関連する。このチャクラの機能を保つためには、愛と意志をバランスさせて生きなければならない。
4Aの機能	他の人間への愛の心情。生命の寛大さ。全てのものと結びつきを感じること。
4Bの機能	自我の意志、あるいは外的世界に対する意志。自分の意志と全てのものの意志を調和の中に経験すること。
エネルギー	心臓、循環器系、胸腺、迷走神経、背中上部。 肺、肩、腕、あばら骨、横隔膜
神経叢	心臓神経叢
内分泌腺	胸腺 T細胞。 これはまだ完全にそのしくみが解明されていませんが、胸腺は胎児の成長と身体の免疫反応、特にT細胞の生成に重要な役割を果たします。大人になると胸腺は萎縮しますが、それは普通思春期の頃から、明らかにその時期に分泌が増える性ホルモンに反応して始まります。胸腺は妊娠中にさらに退化し、一生退化を続けます。
機能活性	4A：すべてを愛することができる。自分の仲間のうちにある個人のすべてを見ることができ、各個人の独自性や内側の美しさや光などを見ることができ、同様に否定的なあるいは未発達の間を見える。 4B：人生において物事を成し遂げることに肯定的な態度を持ち、他人がそれを支えてくれると感じる。そしてその見方を指示する体験をする。
精神の機能障害	

## #5 (ヴィシュダ・チャクラ、スロート・チャクラ)

### 高い意志と秩序

位置	喉の前と後ろに位置する。先端部は頸椎 3 番に位置している。 これは聴覚、味覚、嗅覚と関連。
機能	個人の要求に対して責任を負うことに関係。 自分のほうにやってくる全てのものを受け入れることにどんな状態を示すか。 コミュニケーション、自己表現、創造力、決断力。 与えることと受け取ること、そして真実を語ることに関係する。
5Aの機能	受容と同化。
5Bの機能	社会や職業の内部における自己感覚。
エネルギー	甲状腺、気管支、肺、食道、発声器官、消化管、口、喉、歯と歯茎、耳。
神経叢	頸神経叢
内分泌腺	甲状腺、上皮小体（副甲状腺） 代謝の促進・両生類の成長・変態の促進・鳥類の換羽の促進 Ca、P の代謝 バセドウ病、粘液水腫、クレチン病、繊維性骨炎、テタニー症
機能活性	自己表現できる。夢を追い、必要なもの望むものを創り出す。やりがいのある人生を送る。現実への適合性。 5B：自分の仕事に成功し、適応し、自分の人生での使命として仕事に満足していれば、ここは開いている。もしその人がやりがいのある充実した仕事を選択してベストを尽くしていれば、5Bチャクラは満開になる。 自分が思い焦がれる職業を得ようと努力し求めていた触れ合いに近づき、それについて自分の感情を明かすことは、これらの感情を開放する手段である。それはこのチャクラを開く手段である。
精神の機能障害	物事を人のせいにする。協調性がない。拒絶を避けるために他人を避ける。 失敗の恐怖。プライド。
身体の機能障害	呼吸が浅い、喘息、気管支炎、

## #6 (アジュナ・チャクラ、ブラウ・チャクラ)

### 無条件の愛、知恵、洞察力

位置	額と頭の後ろに位置し、先端部は頭の中心にある。
機能	直感、知恵、経験から学ぶ力
6Aの機能	精神的なコンセプトを視覚化し理解する能力。概念の理解
6Bの機能	実践的方法でアイデアを実行する能力。考えを手順を踏んで実行することに関連する。
エネルギー	脳下垂体、脳下部、左目、耳、鼻、脳・神経系。 視覚と関連している。
神経叢	総頸動脈神経叢
内分泌腺	下垂体
機能活性	アイデアが明確になる。 明確になった創造的なアイデアを実行できる。
精神の機能障害	6Aが反時計回りの場合、現実への混乱したコンセプト、あるいはイメージを持つ。 それを世界に投影し自分の世界を創造する。 6B：アイデアを実現するのに苦労する。 やりたいことが見つからない、集中力がなく、考えがまとまらない。アイデアを実行できない。
身体の機能障害	頭痛、弱視、神経障害、学習障害

## #7 (サハスーラ・チャクラ、クラウン・チャクラ)

### 靈的理性と智慧、統合性

位置	頭のとっぺんにあり、先端部は頭の上部中央に位置する。エネルギーを脳の上部和右目に供給する。
機能	靈性の結びつきと、肉体的、感情的、精神的、靈的な全人格の統合。 靈性、大きなパターンを見る力、献身 全人格と人生の統合。直接知を経験すること、およびパーソナリティをスピリチュアルなものとの統合することに関連している。
エネルギー	脳上部、右目。 頭蓋骨上部、大脳皮質、皮膚。
神経叢	大脳皮質
内分泌腺	松果体
機能活性	非常に特有な個人的な形でしばしば靈性を経験する。その靈性というのは存在の状態であり、無限に広がる現世のリアリティを超越した状態である。それは物理的世界を超え、個人の中に全体の観念や平和や信頼を作り出すとともに、自らの存在に意義を与える。
精神の機能障害	自己の靈性に目覚めない。
身体の機能障害	身体の障害とは無関係の慢性疲労、てんかん、アルツハイマー病